Python について知ろう①(変数について)
 [2 学期授業用プリント No.3]

 3年()組()番 名前()

練習1 文字を表示させよう。

print("こんにちは")

☆「print」で表示させます。文字の表示には""が必要です

説明変数について。

- ●変数とは、データ(文字や数値など)を入れておくような箱のようなものです。 その箱から数値などを取り出して使います。
- ●数学の代入に似ています。

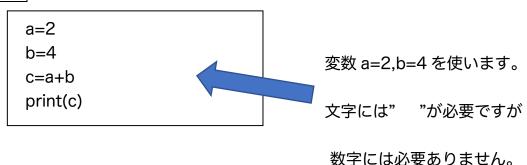
練習2-1 変数を表示させよう。(数字)

a=5 print(a)

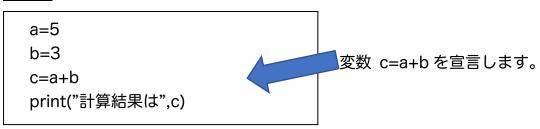
練習2-2 変数を表示させよう。(文字)

a="hello" print(a) 文字の表示には""が必要です

練習3 実際に変数の計算をし、表示されるか確認してみよう。



練習4 変数+文字を表示してみよう。「計算結果は8」という結果を表示します。



練習 5 文字+変数+文字を表示してみよう。「計算結果は 8」という結果を表示します。

a=5 b=3 c=a+b print("計算結果は",c,"です")

●算術演算について

| python | | DNCL |
|--------|---------------|------|
| + | 足し算を行う。 | + |
| _ | 引き算を行う。 | _ |
| * | 掛け算を行う。 | * |
| ** | べき乗を行う | ** |
| / | 割り算を行う。 | / |
| // | 商を求める | ÷ |
| % | 割り算を行い、余りを得る。 | % |



print(a+b) #13

print(a-b) #7
print(a*b) #30

print(a**b) #1000

print(a/b) #3.33333 · · ·

print(a//b) #3

print(a%b) #1

重要 Python と DNCL の比較





- (1) a = 1
- (2) b = 5
- (3) 表示する (a + b)

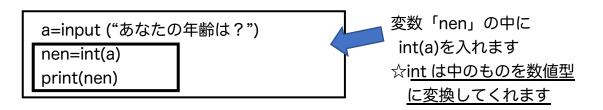
 Python について知ろう①(if 文について)
 [2 学期授業用プリント No.3]

 3年()組()番 名前()

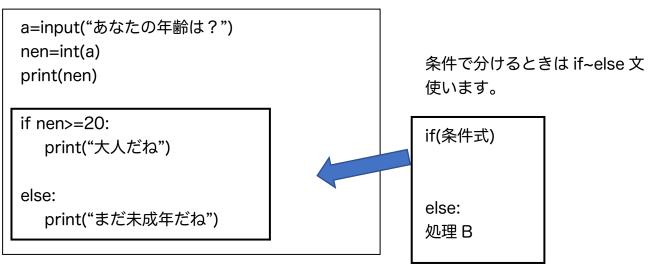
●if でよく出てくる比較演算子

| python | | DNCL |
|--------|-------|------|
| == | 等しい | == |
| != | 等しくない | != |
| > | 大なり | > |
| >= | 以上 | >= |
| < | 小なり | < |
| <= | 以下 | <= |

練習 1 今のままでも表示されますが、a に入った数字がコンピューターは 文字か数字か判断できません。そこで a に入ったものが数字だと 判断させるようにします。int を使います



練習 2 条件によって表示が変わるようにしよう。今回は年齢が20歳以上なら「大人だね」、そうでなければ「まだ未成年だね」というプログラムを作ります。

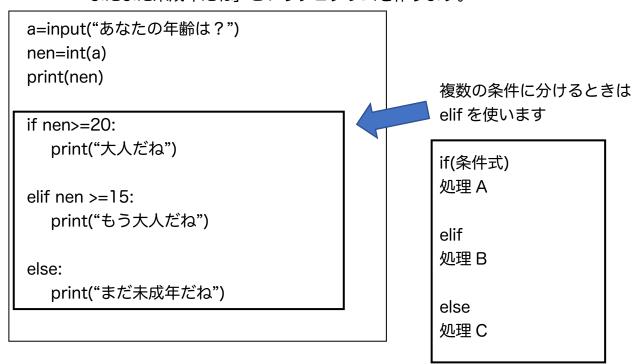


☆if、else の後に print 文を入れる場合は字下げ(tab キー)が必要です。 字下げで if 文の中にあるという意味になります。

字下げなし if nen>20 字下げあり if nen>=20 print("大人だね")

練習3 年齢によって処理を3つに分けてみよう。

20歳以上は「大人だね」15歳以上は「もうすぐ大人だね」、それ以外は「まだまだ未成年だね」というプログラムを作ります。



基礎課題1

点数が70点以上かどうか確認するプログラムを作ろう。 70点以上なら「合格」、60点以上なら「ぎりぎり合格」、 それ以外なら「不合格」となるようにしてください。

> ヒント①input の文字を変えてみよう ヒント②nen>=20 の数値を変えてみよう ヒント③print の中身を変えてみよう。

重要 Python と DNCL の比較

